

故郷をたずねて

～エネルギーと向き合い 原発と人権について考えよう～

～人権啓発推進事業～

島根原子力発電所 ・ 原子力環境センター

人権啓発推進協議会・中電 共催

6月24日 参加者 33名

島根原子力発電所 松江市鹿島町



島根原子力館 松江市鹿島町



島根原子力発電所内の広い敷地をバスで見学しました。安全対策の取り組みとして、地震に備える、津波による浸水を防ぐ、電源を確保、冷却機能確保など現地学習しました。

原子炉の模型、発電のしくみ、エネルギー資源についてなどを 学習しました。
日本のエネルギー自給率7%
海外からの輸入93%
発電の現実を学ぶと私たちに今できることは・・・
と考えさせられました。



原子力環境センター 東伯郡湯梨浜町

県危機管理局の施設で県民の健康と安全を守るため環境放射線の監視、環境試料中の放射性物質の分析を行うモニタリングの拠点施設。

感想 発電所の大規模な安全対策に驚きました。私たちがいつでも安心して電気が使えるように電力会社が発電量と使用量の釣り合いを取っておりそのためには昼夜問わず安定した発電できる水力原子力は欠かせないと思いました。



「災害と人権について」

もし地震などによる原発事故が起こったら・・・自然災害のあと二次的に襲う被害を人災と言い、間違った情報によるうわさ、偏見、風評などつくられる人権侵害です。
現実を見て聴いて感じて考え、正しく判断することが大切です